

アサヒグループでは、「世界の人々の健康で豊かな社会の実現に貢献する」という経営理念のもと、さまざまな研究開発活動に取り組んでいます。このコーナーでは、注目を集めている近年の研究成果をご紹介します。

発見

「食べながら飲むと酔いがまわりにくい」 その正体は“胃の働き”だった

「お酒を飲む時、何かと一緒に食べると酔いがまわりにくい」。このことは以前から多くの人々の間で経験則として知られていましたが、アサヒビール株式会社の「食の基盤技術研究所」は、日本医科大学と共同で、飲酒時に食事をとると酔いがまわりにくいのは“胃の働き”が大きく関係していることを明らかにしました。



研究結果

アルコールを摂取する時に食事をするとき…

- アルコールが胃にとどまる時間が延びる
- 胃で分解されるアルコールの割合が増える



結論

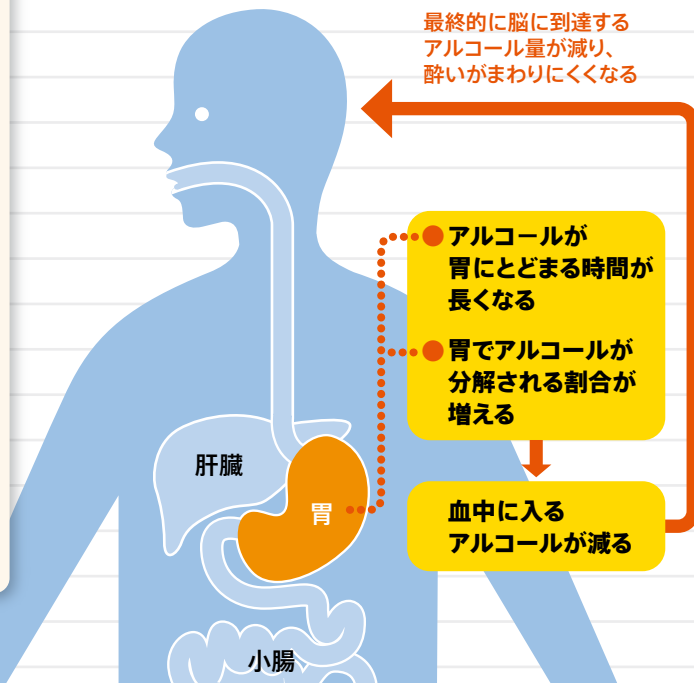
血中に入るアルコール量が減り、何も食べずに飲酒した場合に比べて酔いにくくなる！

※ 酔いとは…

分解されずに血中に入ったアルコールが脳に達し、脳を麻痺させることで起こります。

★酔いの状態の目安がわかる計算式
最高血中アルコール濃度(%)
＝アルコールの摂取量÷体重の2/3×100
※詳しくはWEBへ
(「人とお酒のイイ関係 酔いのメカニズム」で検索)

アルコールと食事を一緒に摂った場合の
体内循環イメージ



アサヒグループは、酒文化の健全な発展をめざすとともに、アルコール飲料の特性を認識し、適正飲酒の推進に組織的かつ継続的に取り組むことにより社会的責任を果たし、人々の健康で豊かな社会の実現に努力してまいります。